

富士市のごみを考える会通信2022年夏号



発行：NPO 法人富士市のごみを考える会 2022 年 6 月発行夏号

理事長：小川 浩

事務所：富士市大淵 27 番地の 6(小野宅)

Tel/fax: 0545-35-2439 mail: fujigomizero@me.com

(しずぎんふるさと環境保全基金により作成)

- 2022 年 6 月 25 日の総会は、ふじさんエコトピア修理再生室にて、10 時半より行います。本年は、残念ながら、総会のみ開催とします。

「もったいない音楽会」の企画を考えましたが、新型コロナウイルスの脅威がなくならないことから、もう 1 年我慢しようということになりました。

楽しみにしてくださった皆様には申し訳ございません。

来年度は、富士市のごみを考える会 20 周年記念です。来年こそ楽しみにしてくださいね

総会資料を同封いたします。参加できない会員さんは、必ず委任状を FAX してください。よろしくお願いいたします

これからの予定

- 日時：7 月 31 日(日) 10:00～11:30 修理再生室①②③

題名：流木を使ったタペストリー(壁飾り)を作ろう

講師：NPO 法人富士市のごみを考える会

料金：400 円～500 円

定員：16 名

申込み：7 月 17 日～

担当：平田・梅原



- 社会教育課、令和 4 年度まちづくりセンター少年教育事業について
7/29、8/3、8/15(午前・午後)8/16(午前・午後)8/18、8/19に予定
小野担当

- ふじエコ・フェスタ 2022 について 2022 年 10 月 23 日(日)
・「その他の紙」とトイレトペーパーの交換をする→持ち込み方法を統一する
責任者：菅井(やり方は青葉台文化祭に準ずる) 交換品交渉：小野

・「EMIぼかしを使った生ごみ資源化」

午前10時から10名・午後1時から10名 (2回開催)

責任者：熊谷→バケツ、EMIぼかしの準備はエコトピア

- 大淵での農作業は、農薬を使わない限り、どこまで野生と共存できるかの我慢比べだと思いますが、良いアイデアをお持ちの方はお知らせください。



- 080-5102-2439 小野までよろしくお願いします。



富士市まちづくりセンター
青少年教育講座が
このほど、初めてオン
ラインで開催された。

市環境アドバイザー
の古田康夫さん、千頭

オンラインで環境学ば まちセン青少年教育講座



ごみの分別方法について解説した



望さんNPO法人富士市のごみを考える会のメンバーが講師となり、「環境」をテーマにデジタル紙芝居や実験を交えながら講演。児童9人が、「GIGAスクール構想」によって市内の小中学生に1人1台ずつ整備されたタブレット端末を使って自宅から参加し、ごみや地球温暖化問題について学んだ。

同NPOは、食品ロス問題やごみの分別方法などについて解説。プラスチック容器・包装の分別方法については、富士市では週1回、「プラマーク」がついたものを資源物専用のごみ袋にまとめて地域で決められた集積所に出すことができる

と説明。分別されたプラスチック類は、新しいプラスチック製品や化学材料にリサイクルされる一方、他のごみなどが混ざってしまったと再利用の用途が限られてしまうと、正しく、丁寧に分別してほしい」と呼び掛けた。

市まちセン少年教育講座は、市内の小中学生を対象とし、小学校区ごとに受講生を募集し▽スポーツ▽文化・芸術▽食育▽自然体験などを、さまざまなテーマで年間5〜6回ほど実施。これまでは会場での開催としてきたが、新型コロナ拡大による県内の「まん延防止等重点措置」延長を受け、オンラインで実施した。

講座の実施内容については市教育委員会社会教育課のインスタグラムでも紹介している。

 インスタグラムのQRコード